

## 行政視察受け入れ

1月31日、福島県石川町議会文教厚生常任委員会の関根武一委員長及び大野峯議長ほか4名の議員と随行職員あわせて8名が、行政視察のため、本村を訪れました。

当議会からは、正副議長、厚生文教常任委員長、村からは中島村長、総務課職員あわせて6名が同席し、本村の自主防災活動について、研修を行いました。



自主防災活動での意見交換

研修の中で、東日本大震災を教訓に、災害の防止または軽減を図る上で、行政や防災関係機関のみならず、住民が自主的に防災活動に参加し、地域で助け合うことが必要となる自主防災組織の大切さについて、活発な意見交換が行われました。そして、石川町での防災への取り組みについての話も伺い、お互いより良い防災活動につなげていこうと意識づけ合いました。

石川町議会文教厚生常任委員会の皆さま、ありがとうございました。



美浦村役場前にて

## タブレット端末研修会

3月6日、議会定例会終了後、議員14名と執行部が参加し、タブレット端末研修会を行いました。

この研修会は、東日本大震災時に、情報配信基盤が不十分だったため、住民への情報の周知が十分にできなかった課題が生じたことにより、情報通信技術の活用を通じて、効率的・効果的に解決する手段として、「災害に強い情報連携システム」を構築したことに伴い行われたものです。

「災害に強い情報連携システム」は、災害時における住民等への情報提供を迅速かつ正確に行い、更に役場と避難所との双方向の情報送受信を実現するための環境整備を整えるものです。そこで、役場庁舎内をWiFi化し、住民に開放するとともに、それを活用することによる議会資料等のペーパーレス化推進のため、

め、タブレット端末の導入へと現在進行しているところです。

研修内容は、日々のスケジュール管理など、基本的な操作方法を、スクリーンを見ながら行いました。

タブレット端末導入に向けての、第一歩となる研修会となりました。



議会改革の第一歩として